



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年8月9日

上場会社名 株式会社 巴川製紙所 上場取引所 東
 コード番号 3878 URL http://www.tomoegawa.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 善雄
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営戦略本部長 (氏名) 山口 正明 TEL 054-256-4319
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	8,521	△0.8	215	31.3	270	10.1	161	△30.6
25年3月期第1四半期	8,587	△8.1	163	△66.6	245	△51.0	232	△22.1

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 441百万円 (91.7%) 25年3月期第1四半期 230百万円 (△34.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	3.16	—
25年3月期第1四半期	4.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	41,535	12,915	28.6	232.71
25年3月期	41,909	12,730	28.0	230.03

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 11,868百万円 25年3月期 11,732百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,000	0.3	250	26.6	200	1.3	100	△59.2	1.96
通期	37,000	6.6	800	51.0	700	116.0	400	78.6	7.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期1Q	51,947,031株	25年3月期	51,947,031株
26年3月期1Q	943,544株	25年3月期	942,991株
26年3月期1Q	51,003,805株	25年3月期1Q	51,006,591株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表等	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、金融緩和や財政政策などへの期待により株価急騰や円高是正が進むなど、景気回復の兆しが見られてきたものの、欧州債務危機の長期化や新興国経済成長の鈍化に対する懸念なども熾ぶり、依然として先行きが不透明な状況が続きました。

このような経済状況の下、前期第4四半期に引き続き、円高是正による追い風を受けて輸出が大きく増加すると共に中国工場の生産性向上効果も本格的に寄与しはじめたトナー関連事業の貢献があったものの、当第1四半期連結累計期間における売上高は、前年同期に比べ65百万円の減収の8,521百万円(0.8%減)となりました。

利益面につきましては、円高是正の効果に加え、海外関連事業の収益力回復と原価低減のための各種施策の継続により、当第1四半期連結累計期間の営業利益は前年同期に比べ51百万円増益の215百万円(31.3%増)となり、これに財務体質改善効果が加わったことなどから経常利益は24百万円増益の270百万円(10.1%増)となりました。また、四半期純利益は前年同期に比べ税金費用が増加したこともあり、71百万円減益の161百万円(30.6%減)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

①プラスチック材料加工事業

プラスチック材料加工事業では、昨年の夏場以降から続く業界の低迷により、半導体関連製品の受注は軟調に推移し、またF/P/D関連も低水準の稼働状況が続きました。一方、トナー関連事業では、輸出環境の好転により製品輸出が増加するとともに、中国工場の生産性向上効果の貢献も始まったことから、売上高は5,354百万円(対前年同期比1.4%増)となりました。

この結果、セグメント(営業)利益は前年同期と比べ109百万円増益の118百万円となりました。

②製紙・塗工紙関連事業

製紙・塗工紙関連事業は、新製品が成長した機能紙分野は堅調に推移したものの、市場縮小が続く塗工紙の減少などがあったことから、売上高は3,148百万円(対前年同期比4.3%減)となりました。

製紙・塗工紙関連事業の利益面につきましては、収益改善対策を推進したものの、原材料とエネルギーコストの上昇を吸収し切れず、セグメント(営業)利益は81百万円(対前年同期比43.2%減)となりました。

(参考) セグメントの概況

(単位:百万円 比率:%)

	売上高			セグメント利益		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減率
プラスチック材料加工事業	5,279	5,354	1.4	8	118	—
製紙・塗工紙関連事業	3,290	3,148	△4.3	142	81	△43.2
その他	17	18	5.0	△0	10	—
計	8,587	8,521	△0.8	150	210	39.7
調整額	—	—	—	12	4	—
四半期連結損益及び 包括利益計算書計上額	8,587	8,521	△0.8	163	215	31.3

(注) セグメント利益は営業利益に相当します。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は41,535百万円で、前連結会計年度末に比べ373百万円の減少となりました。流動資産は20,119百万円で、前連結会計年度末に比べ209百万円の減少となり、その主な要因は製品が増加したものの、現金及び預金・受取手形及び売掛金が減少したことによるものです。固定資産は21,415百万円で、前連結会計年度末に比べ164百万円の減少となり、その主な要因は償却による有形固定資産の減少によるものです。

負債合計は、28,620百万円で、前連結会計年度末に比べ558百万円の減少となりました。流動負債は17,102百万円で、前連結会計年度末に比べ164百万円の増加となり、その主な要因は支払手形及び買掛金の増加によるものです。固定負債は11,518百万円で、前連結会計年度末に比べ723百万円の減少となり、その主な要因は長期借入金の減少によるものです。なお、当第1四半期連結会計期間末における有利子負債残高は、16,850百万円と、前連結会計年度末に比べ564百万円の減少となりました。

また、純資産は、12,915百万円で、前連結会計年度末に比べ184百万円の増加となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ449百万円減少し、3,614百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産が395百万円増加したものの、減価償却費436百万円の計上に加え、売上債権が410百万円減少したことなどから532百万円の増加となり、前年同期と比べ72百万円の減少となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出が169百万円あったことなどから、219百万円の減少となり、前年同期と比べ48百万円の減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入が200百万円あったものの、長期借入金の返済による支出が865百万円あったことなどから924百万円の減少となり、前年同期と比べ312百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、理想の姿を「グローバルに展開し成長する全員参加の開発型企業」と定め、当期は、「グローバル化と新規事業・新製品開発の成果を具現化し増収増益基調を定着させる」ことを基本方針としております。当第1四半期連結累計期間の業績は、前述のとおり売上高、損益とも概ね計画通りに推移いたしました。

今後の成長の鍵である新製品開発については、広く電気・電子材料分野において当社の強みの1つである電気絶縁評価技術等を活かした新製品立ち上げに向け、マーケティング活動と開発活動を鋭意推進中であります。また昨年来の業績改善への貢献が大きい機能紙分野でも、次の新製品立ち上げに向けて積極的にリソースの投入を行っております。更にフラットパネル関連を中心とした精密塗工分野でも、テレビ向け用途からタブレットPCやタッチパネル等の中・小型ディスプレイ向け用途への事業構造の転換を推進中であります。

当第2四半期以降の業績については、引き続き経済動向や為替の不安定性などに懸念材料は残るものの、昨年同時期に発生したテレビ向けFPD市場の一層の冷え込みによる懸念は、当社事業構造の転換により大きく緩和されており、調整局面が長引く半導体市場についても、更なる悪化懸念は少なくなっております。

このような状況下、当社グループはグローバル展開の加速と、開発成果の早期実現を図ることで、平成25年5月15日に公表した業績予想(売上高37,000百万円、営業利益800百万円、経常利益700百万円、当期純利益400百万円)の達成を、引き続き目指してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、㈱テクニカ巴川は、清算手続中であり重要性が低下したため、当第1四半期連結会計期間より、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表等
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,129	3,668
受取手形及び売掛金	7,064	6,766
製品	5,728	6,112
仕掛品	71	74
原材料及び貯蔵品	1,854	1,943
その他	1,488	1,561
貸倒引当金	△7	△8
流動資産合計	20,329	20,119
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,702	7,620
機械装置及び運搬具(純額)	4,966	4,960
その他(純額)	4,747	4,569
有形固定資産合計	17,416	17,150
無形固定資産		
投資その他の資産	170	163
その他	3,998	4,107
貸倒引当金	△5	△5
投資その他の資産合計	3,993	4,102
固定資産合計	21,580	21,415
資産合計	41,909	41,535
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,498	5,874
短期借入金	5,853	5,897
1年内返済予定の長期借入金	2,775	2,759
未払法人税等	96	32
賞与引当金	394	117
その他	2,317	2,421
流動負債合計	16,937	17,102
固定負債		
長期借入金	8,785	8,194
退職給付引当金	2,623	2,555
役員退職慰労引当金	205	156
その他	627	611
固定負債合計	12,241	11,518
負債合計	29,179	28,620

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,894	2,894
資本剰余金	3,582	3,582
利益剰余金	6,042	5,951
自己株式	△324	△324
株主資本合計	12,195	12,104
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	210	227
為替換算調整勘定	△673	△462
その他の包括利益累計額合計	△462	△235
少数株主持分	997	1,046
純資産合計	12,730	12,915
負債純資産合計	41,909	41,535

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	8,587	8,521
売上原価	7,203	7,067
売上総利益	1,384	1,454
販売費及び一般管理費	1,220	1,239
営業利益	163	215
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	17	18
受取保険金	4	32
持分法による投資利益	43	20
補助金収入	90	23
その他	17	29
営業外収益合計	173	125
営業外費用		
支払利息	72	58
その他	19	11
営業外費用合計	92	69
経常利益	245	270
特別損失		
固定資産除却損	1	13
特別損失合計	1	13
税金等調整前四半期純利益	243	257
法人税、住民税及び事業税	8	48
法人税等調整額	△9	16
法人税等合計	△1	64
少数株主損益調整前四半期純利益	244	192
少数株主利益	12	30
四半期純利益	232	161

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主利益	12	30
少数株主損益調整前四半期純利益	244	192
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△59	15
為替換算調整勘定	46	233
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	1
その他の包括利益合計	△14	249
四半期包括利益	230	441
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	200	388
少数株主に係る四半期包括利益	29	53

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	243	257
減価償却費	511	436
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	5	△48
退職給付引当金の増減額(△は減少)	104	△67
受取利息及び受取配当金	△17	△19
支払利息	72	58
補助金収入	△90	△23
売上債権の増減額(△は増加)	△191	410
たな卸資産の増減額(△は増加)	△105	△395
仕入債務の増減額(△は減少)	440	272
その他	△361	△285
小計	611	594
利息及び配当金の受取額	18	20
利息の支払額	△73	△48
法人税等の支払額	△33	△77
法人税等の還付額	43	19
その他	37	23
営業活動によるキャッシュ・フロー	604	532
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△177	△169
その他	5	△50
投資活動によるキャッシュ・フロー	△171	△219
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	35	16
長期借入れによる収入	1,729	200
長期借入金の返済による支出	△2,150	△865
配当金の支払額	△214	△216
少数株主への配当金の支払額	△4	△4
その他	△6	△54
財務活動によるキャッシュ・フロー	△612	△924
現金及び現金同等物に係る換算差額	108	173
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△69	△438
現金及び現金同等物の期首残高	3,983	4,064
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	△11
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,914	3,614

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	プラスチック 材料加工 事業	製紙・塗工 紙関連事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	5,279	3,290	8,569	17	8,587	—	8,587
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	0	50	50	204	254	△254	—
計	5,279	3,340	8,620	222	8,842	△254	8,587
セグメント利益 又は損失(△)	8	142	151	△0	150	12	163

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービス等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額12百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	プラスチック 材料加工 事業	製紙・塗工 紙関連事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	5,354	3,148	8,502	18	8,521	—	8,521
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	0	35	35	193	229	△229	—
計	5,354	3,183	8,538	212	8,750	△229	8,521
セグメント利益	118	81	200	10	210	4	215

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、物流サービス等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額4百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。